

# 令和8年度「コメがつなぐ自治体間農業連携首長協議会」活動計画

## 1 基本方針

本協議会は、生産地と消費地の自治体が「米」を核として連携し、それぞれの地域が持つ資源や強みを生かしながら、地方から自治体発の新たな政策モデルを創出・横展開していく自治体間ネットワークである。

米は、日本人の主食であると同時に、食料安全保障、農業の持続性、環境との調和、次世代の育成、地域文化の継承など、多面的価値を有する基盤である。本協議会では、これらの価値を踏まえ、設立趣意書に掲げる連携項目の実現に向けた取組を推進する。

その中でも立ち上げ期においては、本協議会のネットワークを活用し、特に米の「生産拡大」と「消費拡大」を一体的に推進することを主軸とする。

また、本取組は中長期的な視点に立つものであり、自治体が有する主要な政策の出口である「学校給食」等を活用するとともに、将来的な消費行動の形成に大きな影響を与える「こども」を主要なターゲットとして位置づける。

これらを踏まえ、本協議会では、米の生産拡大・消費拡大の実現に向けて、「米を食べる」「米を知る」「米で繋がる」の3つの軸に基づき、実行可能な活動計画を推進する。

## 2 活動計画

米の生産拡大・消費拡大を図るため、自治体が主体となって日常的な消費機会の創出に取り組む。

また、各自治体が実施可能な取組を選択し、少なくとも1つのアクションを実施する。

### 重点プロジェクト① 米を食べる

日常的な消費機会の創出により、米の需要拡大を直接的に実現するとともに、生産の持続性を支える基盤を形成する。

#### 【学校給食での活用（コアアクション）】

- ・地元または連携先の米を給食で活用
- ・有機・特別栽培米等の環境に配慮した米への切替・拡大
- ・医食同源の理念に資する米の活用
- ・米飯給食の回数の拡大
- ・使用量の見える化

### 【子育て・健康施策での活用】

- ・妊婦・子育て世帯への米の提供
- ・高齢者等への健康施策での活用

### 【地域での消費機会の創出】

- ・イベント・フェアでの米の活用
- ・学校・地域行事での提供
- ・地元飲食店・地域事業者との連携

## 重点プロジェクト② 米を知る

米の価値や背景への理解を深め、消費行動の定着と次世代への継承を図る。

### 【教育・体験機会の創出（コアアクション）】

- ・学校における食育授業の実施（米・農業・健康等）
- ・農業体験等の実施
- ・地域イベントと連動した学習機会の提供

### 【情報発信・普及啓発】

- ・米の価値（健康・環境・文化等）の発信
- ・自治体広報、SNS等を活用した情報発信
- ・給食や施策と連動したストーリー発信

### 【専門的知見の活用】

- ・食育セミナー等の実施
- ・顧問を通じた学校・自治体向けの知見提供

## 重点プロジェクト③ 米で繋がる

生産地と消費地、自治体間の連携を強化し、持続可能な供給・消費構造を構築する。

### 【自治体間連携の推進（コアアクション）】

- ・生産地と消費地の直接連携の構築
- ・既存の農業連携ルートの活用・拡充
- ・参加自治体の拡大

**【人的・情報交流の促進】**

- ・ 首長・職員間の交流
- ・ 事例・ノウハウの共有
- ・ 現地視察・意見交換

**【持続的な供給・連携体制の構築】**

- ・ 需要と供給の見える化
- ・ 継続的な取引・連携の仕組み化
- ・ 有事を見据えた広域連携の検討

本活動計画に基づき、各自治体における実践を通じて成果を蓄積し、全国への横展開を図る。